

観光力・消防力さらに前へ

塚本まさる

Tukamoto Masaru
奈良市議会議員

議会活動報告



集中備蓄倉庫を設置している、市西大寺北地域ふれあい会館

分散備蓄倉庫 備蓄物資交付対象者へ速やかに必要な物資を交付できるよう、各避難所に整備される倉庫。新年度に未整備の2地区に配備して、計50カ所全ての防災地区に配置する。

拠点備蓄倉庫(集中備蓄倉庫) 備蓄物資交付対象者の多い避難所へ物資の補充を図るため、公的備蓄物資を備蓄する倉庫。拠点備蓄倉庫を集中備蓄倉庫として再整備を行い、既存のものを含め10カ所に配置する。

新年(令和4)度予算の中には「市の消防力や防災力の一層の強化を目指す諸施策を盛り込み、国の緊急防災・減災事業債(補助金)を活用し災害用備蓄倉庫を整備していきます。私はこれら具体的な方針やこれまで明らかになった課題について質問し、有事に備え、速やかな整備を求めました。

これまで市は「分散備蓄倉庫」IIを48の地域の防災地区に1カ所ずつ配置し、「拠点備蓄倉庫」II「写真II」については、市役所や防災センターなど8カ所に設置してきました。「分散」は残り2地区が未整備になっており、「拠点は」分散と兼ねたものや、位置付けが不明瞭になっているなどの課題がある。

有事の備え、災害備蓄庫の充実を

奈良市議会の塚本勝(自民党奈良市議会・結の会)は、奈良市の消防力や防災力の向上を訴え議会活動に取り組んできました。新年(令和4)度の予算には、主要施策の一つとして「安心して暮らせるまち」を掲げ、近年増加している豪雨・台風等による災害に備える防災用備蓄倉庫の配置強化などが盛り込まれました。その他、教育やまちづくりをはじめ令和3年度に取り組んだ私の議会活動を市民の皆様にご報告させていただきます。

新年度予算「安心して暮らせるまち」を掲げ 消防力・防災力の向上訴え

ります。

新年度から市は、未整備になっている2地区に分散を配備し計50カ所全ての防災地区に配置します。また、災害時における防災備蓄品のより機動的な運用を行うため「拠点を」集中備蓄倉庫として再整備。既存のものを含めて10カ所に配置する考えを明らかにしました。

地域の自主防災組織

「若者参画」の 支援を求める

防災用備蓄倉庫の配置、再整備に加え、有事の際の地域の活動を担う「自主防災組織」について質問しました。組織が高齢化し、地域の若者参画が得られない、活動のマンネリ化、組織間の取り組みの格差など、諸課題に対して市がいかに活動支援ができるか問いました。

市は活動交付金を毎年交付して支援しているほか、今年からは組織の活性化とスキルアップを目的に「地区防災リーダー研修」を1、2月にかけて開催し、地域の防災力向上に力を入れていると説明。

私は、地域の若者が参画してくれるような仕組みづくりを求めるとともに、自治会と自主防災組織の連携強化に市が努めるよう求めました。

奈良交通が「歌姫線」休廃止検討 要望伝え1年延長

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、奈良交通が、市内15のバス路線の休廃止の検討を始められました。15路線には近鉄大和西大寺駅と歌姫町を結ぶ「歌姫線」も構想に入っています。私は関係自治会の皆様と共に奈良交通

に対して存続を求める要望を行い、検討の1年間の延長を受け入れていただきました。

要望では関係自治会の皆様が「歌姫線」を通勤通学、通院、買い物などで使用しており、日常生活の維持にあたっては大きな問題と提起。自治会をあげて同線の利用に取り組んでいく意向を同社に伝え、休廃止ではなく、存続を求めるよう要望しました



【主な役職】

- 奈良市消防団都跡分団団長
- 奈良商工会議所青年部OB朋友会役員
- 奈良納税協会貯蓄組合連合会常任理事
- 奈良飲食店組合役員
- 平城宮跡保存会監事
- 奈良県防衛協会常任理事

- 奈良経済産業協会経和会会員
- おん祭り大名行列保存会会員
- 日本バーテンダー協会奈良支部会員

